

1. 堤の会の紹介

広島市安佐南区伴東7丁目、松宗地区にある松宗堤（ため池）^{まつむねつつみ}や、火山（488.3m）登山道、そこを流れる松宗川などの整備をしているのが、「堤の会」です。この地域の自然環境を整備して、多くの人々が憩える場にしようと活動しています。

堤は、この地域では一番大きなため池で、1941年（昭和16）に完成し、以後、この地域の農業発展に寄与して来ました。土手に大きな石碑があるのが特徴です。面積は、約1700㎡。深さは、約4m。古い資料では、貯水時の水面の高さ：2.31m、貯水量：623m³とあります。1999年（平成11）6・29の豪雨災害時、近くの地域のため池で1人亡くなったことで、松宗堤の水を抜いた後、放置されて、人が入れないジャングルの状態となっていました。



（堤の土手にある石碑）

2. 今年度の主な活動状況 <2021年（R3年）4月～>

① 4月4日（日）第3回堤の桜の花見会（9人参加） 雨天のため現地へ行かず、室内で堤の土手に咲いた桜の写真を見ながら歓談する。



② 5月下旬～6月上旬、子ども会と連携して、松宗川のホタルの観察
昨年の夏の豪雨災害により、ホタルは土砂とともに流されたため、飛ぶホタルは少なかった。

③ 6月20日（日）春の堤・火山登山道の整備実施（通算15回）（13人参加）
山道、堤の土手、堤の内部などの草刈りと、2つ目の池づくりをする。



（人の右が1つ目の池、左が2つ目の池 途中）→



↑（作業を終えて）

→

昨年完成した池には、カエルとオタマジャクシそのほかの生物がが息している



④ 7月6日(火)、山道の溝の上に、「松宗つつみ橋」が完成した。(長さ: 7.7 m、幅: 94 cm、溝底から橋までの高さ最大70 cm)

< 1 > 整備前 (6月20日)



< 2 > 整備1日目 (6月29日)



- ・単管を両側に設置する。
- ・その上に鉄板を敷くアングルを設置する

< 3 > 整備2日目(7月6日)完成



→
渡り初めは、火山登山から下山した女性

⑤ 7月28日(水)子ども会と連携して、カワニナ採取(大人5人、子ども9人、計14人)



←
採取したカワニナは、「来年はホタルがたくさん飛びますように」と、願いながら松宗川にまきました。

3. 今後の課題

これから取り組むことは、①堤の内部の排水溝を整備すること、②2つめの池(3 m×6 m、深さ50 cm)を造ることです。

①については、ここ数年大雨による土砂災害が起こり、堤の内部にも土砂が大量に流れ込んで排水溝が詰まり、水が流れなくなることがたびたび起きています。今年は、今まで整備した排水溝の枠の外側にさらに大きな枠を設置して、水が流れるのを確保したいと考えています。

②については、去年の経験を踏まえて、多くの人の協力を得て、つくる予定です。現在水がだいぶ溜まっているので、どのようにして深く掘るかという課題もあります。

4. 今後の展望

昨年池が1つ完成して向かえた今年は、池の内外で今までは見ることがなかった生物を、よく目にするようになりました。6月の整備のとき、カエルの泡上の卵塊を何個か発見しました。これはシュレーゲルアオガエルと思われます。高校の先生から、「堤あたりは、モリアオガエルも生息するのではないか」と聞いて、今後池の上に枝葉を広げる木を育てる取り組みもします。現在堤の内部には、カエルでいえば、少なくとも3種類が生息すると思われます。その他の生物を確認するために、近くの沼田高校の生物部の皆さんの協力を得たいと声をかけたのですが、この夏は、コロナ禍のため活動できないといわれました。今後、学校関係者とも関係を持ち、協力を得たいと考えています。